

## 角館高等学校長挨拶

「歴史と伝統の町」角館は、三方を小高い山々に囲まれた仙北平野の北端に位置し、西は檜木内川、南には玉川が流れる城下町で、みちのくの小京都と呼ばれています。檜木内川の堤にはソメイヨシノの並木が2 Kmにわたって続き、春には清流を背景に、多くの人々に美しい姿を見せてくれます。

このようなすばらしい環境に恵まれた地に建つ本校は、大正14年開校の旧制秋田県立角館中学校を前身とする角館高等学校と、昭和3年開校の秋田県立角館高等女学校を前身とする角館南高等学校が平成26年に統合し、新生「角館高等学校」として誕生しました。そして、ここから大きな志をもった若者が育つよう、教育目標を「郷土を愛し国際社会や地域社会に貢献できる人材の育成」と決めました。質実剛健の「若杉精神」と、人に寄り添う繊細な「駒草精神」は、この目標の実現に向けた角高生の心の支えとなっています。生徒諸君には、これからもこの二つの精神を引き継ぎ、角館高校の新たな歴史を築いてくれることを強く希望します。

今年度は、次の3点を重点教育目標に掲げます。

1. 生命を尊重し、相手の立場に立って物事を考えることができる豊かな心を育成する
2. 生徒会活動や部活動、学校行事等への積極的な取組を通して、生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図る
3. 明確な進路目標をもって主体的に学び、その達成に向かって粘り強く努力する生徒を育成する

今年度新たに、全日制課程210名、定時制課程13名の新入生を迎え、平成30年度の角館高等学校の船出が始まりました。生徒達は、それぞれが目指す進路目標に向けて熱心に勉学に励む一方、9割以上が部活動に所属しており、文武両道を成し遂げるべく日々頑張っています。

我が角館高等学校は「生徒の夢を叶える学舎でありたい」と考えています。保護者の皆様や、同窓会、地域の方々の御支援をいただきながら、教職員一同一丸となって、生徒の夢の実現と角館高等学校のより一層の躍進に向け邁進したいと考えております。よろしくお願いたします。

平成30年4月6日

校長 檜尾 尚樹